

令和5年度指定管理運営業務評価票

施設名称：府立門真スポーツセンタ	指定管理者：CW・関電FA・パティネレジャー 門真SC共同事業体	指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課
------------------	----------------------------------	--------------------------	----------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価	
			S～C		S～C		S～C	
I 提案の履行状況に関する項目	平等利用が確保されるよう適切な管理を行なうための方策	(1)施設の設置目的及び管理運営方針						
		<p>①施設の設置目的に沿った運営</p> <p>②提案した管理運営方針に沿った管理</p> <p>③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取組み</p>	<p>①体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、併せて文化的な集会及び催物の場を提供することを目的に大阪府の競技スポーツ・生涯スポーツの拠点施設として設置された大阪府立門真スポーツセンター（以下、「当施設」）の目的に沿った管理運営を実践。</p> <p>当施設の管理運営にあたっては、利用者サービスの向上や経費の節減を図ることはもとより、民間の経営手法や人材・技術力などの活力を最大限に活かした運営を行うことにより、施設を有効利用した事業展開を図るなど、魅力的な施設運営を目指す大阪府の意向に沿った管理運営を実践。</p> <p>②施設を有効活用するために、自主事業としてスポーツ教室及び文化教室を実施。</p> <p>●スポーツ教室→ 講座数：25 新たにバスケットボール教室を開講</p> <p>●文化教室→ 講座数：1</p> <p>●近隣 2市と連携したプール利用補助券の販売実施。</p> <p>●令和5年上期（4月～9月）実績</p> <p>・門真市 利用者数：■人、前年差：■人</p> <p>・大東市 利用者数：■人、前年差：■人</p> <p>令和3年度の一時休館等の影響を受け、令和4年は前年+3,086人と大きく補助券の利用者が増えた。その影響もあり、令和5年は昨年よりは若干のマイナスとなったが、上半期のみで8,244人の利用をいただいた。</p> <p>また、売上金額については令和4年よりも192,000円増加しており、下期にかけて利用が増えるものと思われる。</p> <p>●職員の一般知識および専門知識向上のため各種研修を実施。</p> <p>・令和5年度：4月11日、5月9日、6月13日、7月11日、9月12日：集団安全研修および緊急対応訓練（8月は休館なしのため、個人でCPRの練習を実施）</p> <p>・令和5年7月11日：水中安全研修 COSPAの専門部署による研修も実施</p> <p>・令和5年9月12日：消防避難訓練 消防署職員立ち合いにて実施</p> <p>■地元学生の職場体験受入れを実施。</p> <p>2校の受け入れを予定している。</p> <p>日々の光熱水量を確認し、情報共有を行って、省エネ意識の向上に繋げる。</p> <p>本社専門担当による内部監査を実施し、個人情報の取り扱いや法令順守を徹底。特に個人情報の管理は、プライバシーマークを取得していることもあり、厳しい視点での管理を実施している。</p>	A	<p>①条例の設置目的に従って、「体育・スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、併せて文化的な集会及び催物の場」を提供できるよう、適切な管理運営がなされている。</p> <p>また、メインアリーナでは、春～夏：水泳大会、秋：大相撲や各種団体の運動会、冬：フィギュアスケートの国際大会などメインアリーナの形態に応じた利用がなされている。</p> <p>②施設の特性を生かした自主事業を実施することができており、新たにバスケットボール教室も開講し府民のスポーツ振興に貢献している。</p> <p>プール利用補助券については、昨年度に引き続き販売を行っており、利用者数は減少しているものの売上金額は増加させることができています。</p> <p>また、研修についても様々な研修を実施することができており、職員の資質向上を図ることができています。</p> <p>③個人情報の取扱いをはじめ、内部監査の実施により、法令遵守の取組みがなされている。また、プライバシーマークの取得もしており、個人情報の取扱いに関する意識向上にもつながっている。</p>	A		

施設名称：府立門真スポーツセンタ		指定管理者：CW・関電FA・パティネレジャー 門真sc共同事業体		指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S～C		S～C		S～C
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	① 公平なサービス提供、対応状況	<p>■誰もが使いやすい施設・ハードの整備や、誰もが参加できる事業、平等に利用できる運用ルールの設定マナー向上の啓発を実施。</p> <p>無料で参加できるプログラムとして、プールでは「ワンポイントレッスン」、トレーニングでは「サービスプログラム」を実施。</p>	A	<p>①ワンポイントレッスン等については、無料プログラムということもあり、参加者も多く、水泳等の能力向上を図ることができている。</p>	A		
	② 高齢者、障がい者等に対する配慮	<p>■<高齢者への利用配慮></p> <p>昨年度よりも2人増員し、健康運動指導士7人を配置。館内の案内掲示物をリニューアルし、高齢者等が見やすいように変更。</p> <p>トレーニングルームやプールにおいて、高齢者が利用しやすい環境を整えている。</p> <p><障がい者への利用配慮></p> <p>障がい者及び介助者の利用料金、駐車料金の減免対応。障がい者スポーツ指導員を2人増員し、6人を配置。貸出し用の車椅子を4台設置。</p> <p>令和5年上期（4月～9月）減免対応利用者実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングルーム 利用者数：5,768人、月平均：961.3人 ・プール 利用者数：5,786人、月平均：964.3人 <p>※トレーニング、プール共に、平均して月960人を超える減免利用者にご利用いただいている。</p>					
	③ 感染拡大防止対策の徹底	<p>③<共通> ※5月7日までの期間</p> <p>プールやシャワー等の一部エリアを除き、マスクの着用を必須とした。</p> <p>出入口や施設内に消毒液を設置した。</p> <p>人数制限を行い、密を避けた運営を実施した。</p> <p>対面が必要な受付では、飛沫による感染を防ぐため、シートや透明板を設置した。</p> <p><利用者向け></p> <p>一般利用者には検温を実施した。</p> <p>専用利用者には手指消毒液と備品消毒液のセット（布巾含む）を施設側が用意をし、指定の体調確認表の提出も必須とした。</p> <p><職員向け></p> <p>出勤時には検温を必須とし、少しでも体調に異変があれば、自宅待機として感染拡大防止に努めた。</p> <p>【5月8日以降】※5類感染症への移行後</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクの着用は個人の判断に変更したが、出入口での消毒液は設置を続け、スタッフによる定期的な消毒作業も継続して行っている。 		<p>③施設職員及び利用者に対して日々の消毒等、感染拡大防止のための取組みを実施することができており、クラスターの発生もなく運営することができている。</p>			

施設名称：府立門真スポーツセンタ		指定管理者：CW・関電FA・パティネレジャー 門真sc共同事業体		指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課		
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価	
			S～C		S～C		S～C	
施設の効用を最大限発揮するための方策	(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	①利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み ②年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み〔指標〕利用者数 令和4年度実績：350,166人 令和5年度目標：502,239人 9月末現在実績：207,134人	①月間行事案内を毎月発行し、要所への設置と関係各所への送付を実施。 デジタルサイネージやホームページ、門真南駅での情報発信の他、利用者へ直接のお声かけも行って利用者増に努めている。 ②令和4年度上期実績：160,422人 ⇒ 前年+46,712人 ⇒ 前年同期比：129.1% 令和4年も前年を+56,514人と大きく上回るご利用をいただいております。令和3年から比較すると、令和5年は+103,226人のご利用を上半期のみでいただいた。確実に利用者は増加しており、活気が出ている。	A	①デジタルサイネージでのイベント情報の発信や門真南駅構内における壁面ポスター等利用者増加のための取組みを行うことができています。 ②幅広くイベントや教室等の情報をタイムリーに発信することができており、利用者も増加傾向にあり、目標の利用者数に近い人数となる見込みとなっている。	A		
	(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果	①提案のあったサービス向上策の取組み ②自主事業の取組み ③施設設備、機能の活用	①デジタルサイネージを3台設置し、タイムリーな情報発信による利用者満足度の向上に努めた。また、昨年度よりも有資格者を増員して配置した。（健康運動指導士7人、障がい者スポーツ指導員6人、障がい者スポーツコーチ1人、プール衛生管理者1人） ②自主事業として各種スポーツ教室等を継続実施。利用者のニーズに合わせ、バスケットボール教室の新規開設も行った。人気の高いリトモスは3カ月に1回のペースでイベントも開催し、毎回ほぼ定員の集客状況となっている。水泳短期教室はその後の本科入会にも繋がるよう、一部は実施の時間を本科の時間に合わせて実施し、本科が定員となる集客に繋がった。 ③複合施設として、様々な競技大会、イベント等を同日開催し、施設の有効活用を行った。プール可動床を活用し、アーティスティックスイミング日本代表チームをサポート。	A	①各種有資格者を昨年度より増員して配置することにより、配慮体制がさらに整備され利用者満足度の向上にもつながっている。 ②自主事業としてスポーツ教室及び文化教室を昨年度に引き続き実施している。また、今年度より新たにバスケットボール教室を開設し、利用者満足度の向上に努めている。 ③プール、アリーナ及びアイススケートリンク共に、高い利用率を誇り、各々の用途に沿った大会やイベントを行うことができています。	A		
I 提案の履行状況に関する項目	(5) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	①施設設備の効果的な維持管理 ②施設設備の安全管理 ③緊急時の危機管理体制	①仕様書に則った設備維持管理を行い、大阪府様へのタイムリーな報告も実施している。 ②職員間で不具合箇所の情報を共有し、リストの作成と活用により効率良く改善を実施。 ③危機管理マニュアルに基づいた行動を心掛け、危機管理体制を共有している。 年間通じて定期的な消防訓練、緊急対応訓練、CPR訓練を確実に実行し緊急時対応の技術を維持する。消防避難訓練は、消防職員立ち合いの下で実施した。 地震・火災・水害等の緊急時は、関係機関と連携しながら利用者や従業員の安全確保を図り、被害拡大を阻止できるように訓練を実施する。 安否確認システムを採用しており、職員の安否確認も実施している。	A	①施設修繕会議を定期的に行い、設備の現状等について共有のうえ、維持管理について協議し対応することができている。 ②施設設備等に不具合が発生した際の対処や管理体制が整備されており、府民等から設備不具合の連絡があった際には、即日対応を行えている。 ③緊急対応訓練や消防立会いのもと消防訓練を実施することで災害等に対する意識を高めることができています。また、危機管理体制の整備により、災害等の際には迅速な対応を行えるよう心掛けることができています。	A		
	(6) 収入確保策の実施	①広告収入等の収入確保策の取組み ②提案どおり実施されているか。	①ホームページに広告バナーを実施した。 ・売上：■円/月 食堂閉鎖に伴い、近隣の弁当屋等にアプローチをし、交渉を継続中。 ・空きスペースを活用し、車の撮影会場として場所を提供。 約4,000円/回の収入を得ている（3回/月のペースで要望あり）。 ②スケート実施時期には横断幕やのぼりを設置し、ポスター掲示と合わせて集客に努める。	B	①コロナによる広告事業者の撤退及びアウトレット閉鎖により広告収入は苦戦している状況だが、新たな広告事業者獲得のため、営業を行っている。 ②HPバナー広告を実施することができているが、その他広告については未実施となっている。	B		

施設名称：府立門真スポーツセンタ		指定管理者：CW・関電FA・パティネレジャー 門真sc共同事業体		指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S～C		S～C		S～C
その他管理に際して必要な事項	(7)府施策との整合	①府、公益事業協力等の取組み	A	①府福祉部施策である「まいど子どもカード及びアクティブシニアパートナー」をはじめ、多くの大阪府施策に積極的に協力している。	A		
		②行政の福祉化の取組み					
③市民・NPOとの協働の取組み	平成30年より、パラリンピックの出場を目指すパラスポーツ競技者 1名を当施設で雇用し、様々なサポートを継続中。						
④環境問題への取組み	③職場体験の受け入れや幼稚園との協働による水泳指導を実施。福祉関連団体やボランティア団体との連携も行き、スムーズな施設利用に向けて双方で協働を行った。 ④SDGsの17ゴール（6、7、12、13、15など）を意識し、雨水や井戸水の利用、コピー用紙の削減や省エネによる環境保全に努めた。COSPAウエルネスの費用にて、井水設備を設置し、雑用水として使用。 メインプール期間終了後の排水を、雨水貯蔵タンクへ移行し雑用水としてトイレの排水等に使用。 老朽化した照明器具を順次LED化し、節電効果の高いものに変更。外気温や利用者数に応じて、濾過機、空調などの間欠運転を実施し節電に努めた。 COSPAウエルネスの費用で空調機制御インバーターを導入し、24時間必要に応じた制御を実施。 コピー用紙は裏紙の使用やページ集約機能を活用し、使用量の削減を実施。 植栽への散水機の吐出時間及び、駐輪場や街灯を季節に応じてタイマー調整し節電、節水に努めた。 省エネに向けた意識の向上と効率を高めるため、タイムトライアル等を実施し、スタッフの育成にも注力した。						
I 総括		7項目（28点満点）	A	7項目（28点満点）	A		

施設名称：府立門真スポーツセンタ		指定管理者：CW・関電FA・パティネレジャー 門真sc共同事業体		指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S～C		S～C		S～C
II さらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	①利用者満足度調査等の実施状況 ②調査結果のフィードバック（PDCA）	①アンケートを実施し、利用者満足度の向上に努めている。（令和4年度配布実績 配布数528通、回収数91通）総合的な満足度の回答では、大変満足：67.8%・満足：32.2%の結果となり、不満以下の回答はなかった。「また利用したいか」の質問では、97.7%が「また利用したい」の回答であった。 ②結果は職員へ共有し、緊急性や影響度を考慮して、即日改善や計画的な改善を行っている。	A	①アンケート結果について、「大変満足」及び「満足」の回答が、100%と、昨年度よりも上昇し非常に良い結果となっている。 ②利用者からの意見・要望を受け、緊急性等を考慮し随時実施している。	A	
	(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取組み 〔指標1〕自主事業参加者数 R4実績：3,159人、上半期実績：2,612人 R5目標：5,067人、上半期実績：2,793人 〔指標2〕自主事業収入状況 R4実績：49,693,152円、上半期実績：17,509,307円 R5目標：66,666,000円、上半期実績：20,286,537円	・参加者数：対前年+181人 ・前年同期比：106.9% バスケットボール教室の開講をはじめ、プライベートスイムやリトモスイメントを定期的実施し、利用者ニーズへの対応を心がけている。 また、職員のスキルアップにも注力し、前年よりも参加者数を大幅に伸ばすことができた。 ・コロナ影響が未だ残ってはいるものの、収入は昨年度上期実績+2,777,230円となっており、大きく改善することができている。	A	他の施設では見られない独自性のある自主事業を行っており、新たにバスケットボール教室を開設したこともあり参加者数増加につながっている。また、冬季には参加者の多いスケート教室も控えているため、目標人数に到達する見込みである。	A	
	(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取組み	・コロナ感染拡大防止に注力し、利用団体にも手指消毒および備品消毒セットを受付時にお渡しし、感染防止に向けた協力と意識付けを同時に行った。 ・メインおよびサブエントランスにデジタルサイネージの設置を始め、タイムリーな情報提供を行った。 ・訴求効果を高めるため、駅構内の掲示内容は小まめに変更した。 ・来場者が多数見込まれる場合は、主催者・タイムズ24とも連携を取り、入出庫の時間短縮に努めた。これにより、60分～90分程度の時間短縮に繋がった。 ・人件費や光熱水費の削減並びに職員のスキルアップを目的に、オープncローズのタイムトライアルを行い、正確性と時間短縮の向上に努めている。	S	・当初の提案にはなかったデジタルサイネージの設置や駅構内の広告掲示をイベントごとに変更し、利用者満足度の向上につながっている。 ・アウトレットの閉館により、駐車場が混雑することが多くなる中、出入口変更等を実施することで入出庫時間を短縮できている。 ・光熱費等の支出削減として、従業員に対しタイムトライアル方式を採用することで支出削減等につながっている。	S	
	II 総括		3項目（12点満点）		A	3項目（12点満点）	A

施設名称：府立門真スポーツセンタ	指定管理者：CW・関電FA・パティネレジャー 門真sc共同事業体	指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課
------------------	----------------------------------	--------------------------	----------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S～C		S～C		S～C
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	<p>①事業収支計画、事業収支実績状況</p> <p>〔指標〕R5収支計算書</p> <p>・収入 プロポーザル：560,381千円、見込み：522,629千円</p> <p>・支出 プロポーザル：560,381千円、見込み：553,391千円</p> <p>・納付金 プロポーザル：0千円、見込み：0千円</p>	<p>①事業収支及び見込み</p> <p>《令和5年度：対プロポーザル比》</p> <p>収入：93.3%</p> <p>支出：98.8%</p> <p>支出は抑えるも、コロナ影響は未だ残っており、収入は未達の見込み。しかしながら、昨年度よりも確実に施設は活性化をしている。</p>	B	<p>収入見込みは未達となっているものの、イベント等の誘致により昨年度よりも上昇傾向となっている。また、光熱費等が高騰している中で支出を抑えることはできている。</p>	B	
	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	<p>①職員体制・配置</p> <p>②管理監督体制・責任体制</p> <p>③指導育成、研修体制</p>	<p>①各部署に人員配置を行い管理運営を行う（常勤：週30時間以上）。 管理運営業務 常勤17人、非常勤57人 施設総合管理業務 ・設備管理業務 常勤8人 ・警備保安業務 常勤2人（非常勤2人） ・清掃業務 常勤5人（非常勤13人）</p> <p>②代表企業のCOSPAウエルネスが中心となり、三社で連携を取って、より良い運営を心掛けている。</p> <p>③休館日を活用して、安全訓練を中心に研修を実施し、スキルアップを図っている。運営会議、訓練を通じて、運営上の課題を検討して、都度の改善を実施した。 夏場のプール繁忙期前にはプール安全研修を行い、遊泳者の異変の第一発見者になるための訓練や溺者への対処法などを行った。プライバシーマークを取得しており、高いレベルでの個人情報の取り扱いを行っている。</p>	A	<p>①適切な人員配置により、適切な管理運営体制となっている。</p> <p>②共同事業体として各々で明確な役割分担を行い、管理運営を実施できている。</p> <p>③従業員の指導工場のため、様々な研修を実施することができており、従業員の資質向上を図ることができている。</p>	A	
	(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	<p>①法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤</p> <p>②法人等事業者の財務状況</p>	<p>①<株式会社COSPAウエルネス経営概要> コス・パ 29店、FI TBASE24 20店、30peak 3店、運営受託 9店</p> <p><関電ファシリティーズ株式会社経営概要> 施設維持の様々な要素を総合的に管理することで効率的な施設管理を全国規模で行う。</p> <p><株式会社パティネレジャー経営概要> 全国的にスケートリンクの設計、設営、運営管理を行う。</p> <p>②事業体各社前期の財務指標、損益実績を明示 代表企業 株式会社COSPAウエルネス（令和4年実績） ・売上高：10,687百万円 ・経常利益：138百万円 財務基盤の自己評価（令和4年度実績） ・総資：5,558百万円</p>	A	<p>①構成企業を含め運営基盤は、概ね安定していると認められる。</p> <p>②構成企業を含め財政基盤は、概ね健全であると認められる。</p>	A	
	Ⅲ 総括		3項目（12点満点）	A	3項目（12点満点）	A	
年度評価					A	年度評価	